

稲作

営農情報

令和2年産JAあきた白神米穀共同計算の経費項目別目標水準の開示について

令和2年産JAあきた白神米穀共同計算の経費項目別目標水準について、秋田県本部米麦共同計算関係要領及びJAあきた白神米穀共同計算基本要領に基づき、生産者の皆様へ開示いたします。

1. 令和2年産米JAあきた白神米穀共同計算の経費項目別目標水準明細

うるち米（酒造好適米を除く）

（単位：円／60kg・紙袋代込・税込）

支出項目	JAあきた白神米穀共同計算経費単価		備考（設定内容）
	全農委託米	JA直接販売	
流通・保管等に係る経費	1,270	392	
概算金金利	54	17	概算金借入に係る金利
保管料・入出庫料等	537	166	倉庫保管料・入出庫荷役作業料等の費用
支払運賃	535	165	販売のための輸送運賃
安全安心検査費用	11	3	DNA、残留農薬の検査、食用不適米の分析等の費用
集約保管等経費	90	28	JA倉庫から営業倉庫までの横持ち運賃
その他、流通・保管等に係る経費	43	13	フレコン使用料、パレット使用料等
事故処理経費	4	1	責任の所在が特定できない品質事故の費用
全農手数料	264	81	全農手数料、収穫前他契約機能別手数料含む
販売等に係る経費	208	64	
広告宣伝等経費	208	64	広告、宣伝、販売促進（キャンペーン）等の費用
監査委員会経費	1	0	みのり監査法人による共同計算調査費用等
その他経費	100	31	
米穀周年供給・需要拡大支援事業拠出金	100	31	米穀周年供給・需要拡大支援事業費（協議会への拠出等含）※
JA販売手数料	462	462	定額
概算金金利	0	58	「全農概算金の金利利率」と同率
保管料・低温加算	0	356	期別単価×保管期間（1ヶ月2期制） 低温加算：生産翌年5月末在庫基準
入出庫料（荷役料）	0	149	定額
直接販売事務費	0	132	定額
フレコン使用料	0	35	当年産出荷数量×単価（全農物流の単価と同額）
広告宣伝費	0	121	県域共同計算経費負担としての費用（全農からの請求）
カドミ公平措置負担金	0	33	県域共同計算経費負担としての費用（全農からの請求）
フレコン出荷助成金	0	4	個人フレコン出荷者への助成（全農要領の単価と同額）
その他、販売等に係る経費	0	20	
流通経費合計	2,309	1,370	1,660

もち米（一般米）

（単位：円／60kg・紙袋代込・税込）

支出項目	経費単価	備考（設定内容）
流通・保管等に係る経費	1,651	
概算金金利	40	概算金借入に係る金利
保管料・入出庫料等	886	倉庫保管料・入出庫荷役作業料等の費用
支払運賃	493	販売のための輸送運賃
安全安心検査費用	19	DNA、残留農薬の検査、食用不適米の分析等の費用
集約保管等経費	164	JA倉庫から営業倉庫までの横持ち運賃
その他、流通保管等に係る経費	49	フレコン使用料
事故処理経費	49	責任の所在が特定できない品質事故の費用
全農手数料	165	全農手数料
監査委員会経費	1	みのり監査法人による共同計算調査費用等
その他経費	100	
米穀周年供給・需要拡大支援事業拠出金	100	米穀周年供給・需要拡大支援事業費（協議会への拠出等含）※
JA販売手数料	462	定額
流通経費合計	2,428	

飼料用米

（単位：円／60kg・紙袋代込・税込）

支出項目	経費単価	備考（設定内容）
JA販売手数料	231	定額
保管料	39	期別単価×保管期間（1ヶ月2期制） 低温加算：生産翌年5月末在庫基準
入出庫料（荷役料）	7	定額
フレコン使用料	16	当年産出荷数量×単価（全農物流の単価と同額）
その他、販売等に係る経費	2	
流通経費合計	295	

注）うるち米の経費単価は、「全農への委託販売」：「JA直接販売」＝3：7として試算。もち米は全量、全農委託。飼料用米は全農買取のため、JA経費のみ。
注）四捨五入の関係で合計があわない場合があります。
※「秋田県米需給対策協議会」への拠出金100円が発生しますが、後日、事業費として共同計算取入項目に計上されます。

2. 米穀共同計算の適正管理

米の共同計算については、透明性を高め、より信頼される運営・管理に努めてまいります。

～令和2年産米の作柄及び集荷状況をお知らせします～

◆ 令和2年産米集荷実績状況 ◆

【令和2年10月31日現在】

【単位：60kg／俵】

地区別集荷実績	計画数量	契約数量	集荷実績	1等米比率	計画対比	契約数量対比
のしる東	57,600.0	57,408.5	61,558.0	97.8%	106.9%	107.2%
のしる北	83,400.0	85,638.5	86,164.5	94.9%	103.3%	100.6%
能代計	141,000.0	143,047.0	147,722.5	96.2%	104.8%	103.3%
二ツ井	60,300.0	60,381.5	60,277.5	97.6%	99.9%	99.8%
藤里	35,200.0	36,122.0	36,289.0	95.3%	103.1%	100.5%
合計	236,500.0	239,550.5	244,289.0	96.4%	103.3%	102.0%

※1等米比率は、加工用米等を除いた比率となっております。

◆ 管内の品質状況 ◆

今年の管内の収穫量は平年と比較してやや多くなりました。また、1等米比率の平均は、96.4%（10月31日現在）と昨年より5ポイントほど高くなりました。「今年の稲作は、出穂後のかん水を控え気味にしたことにより、登熟中盤の猛暑で下葉の枯れ上がりが早くなり、9月上旬の強雨によって例年になく倒伏した圃場が多く見られました」次年度は異常気象に対応した栽培管理の徹底をお願い致します。

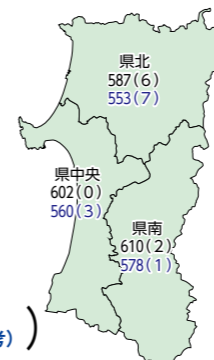
◆ 水稻作柄概況 ◆

【令和2年10月15日現在】

東北農政局は10月15日現在の作柄概況を県北部は10a当たり予想収量587kg、作況指数105と発表しました。昨年同時期に出された県北の作況指数は96となっております。

〈図1〉作柄表示地帯別10a当たり予想収量（10月15日現在）

秋田
602(kg) (前年差2kg)
566(kg) (前年差3kg)



（上段：1.70mmベース
下段：1.85mmベース（参考））

令和2年産水稻の10a当たり予想収量及び作柄概況（10月15日現在）

区分	10a当たり 予想収量 ①	(参考)農家等が使用している ふるい目幅で選択		作況指数 ④=②/③	作柄概況（平年比較）			
		10a当たり 予想収量 ②	10a当たり 平均収量 ③		穂数の多少	1穂当たり もみ数の多 少	全もみ数の 多 少	登熟の良否
秋田	602	560	537	104	やや多い	平年並み	やや多い	やや良
県北	610	578	552	105	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み
県中央	602	575	551	104	多い	やや少ない	やや多い	平年並み
県南	608	589	566	104	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み

注：1 ①10a当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
2 ②10a当たり予想収量、③10a当たり平均収量及び④作況指数は、過去5年間（平成27年度～令和元年度）に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅（秋田県は1.90mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
3 作柄概況（平年比較）に用いた表示区分は、「多い（良）」が106%以上、「やや多い（やや良）」が102～105%、「平年並み」が99～101%、「やや少ない（やや不良）」が95～98%、「少ない（不良）」が94%以下に相当する。

10月30日公表 東北農政局 資料抜粋